

The Kita Osaka Shinkin Bank

北おおさか信用金庫

景況レポート

2021年4～6月期 No.30

Business Condition Report

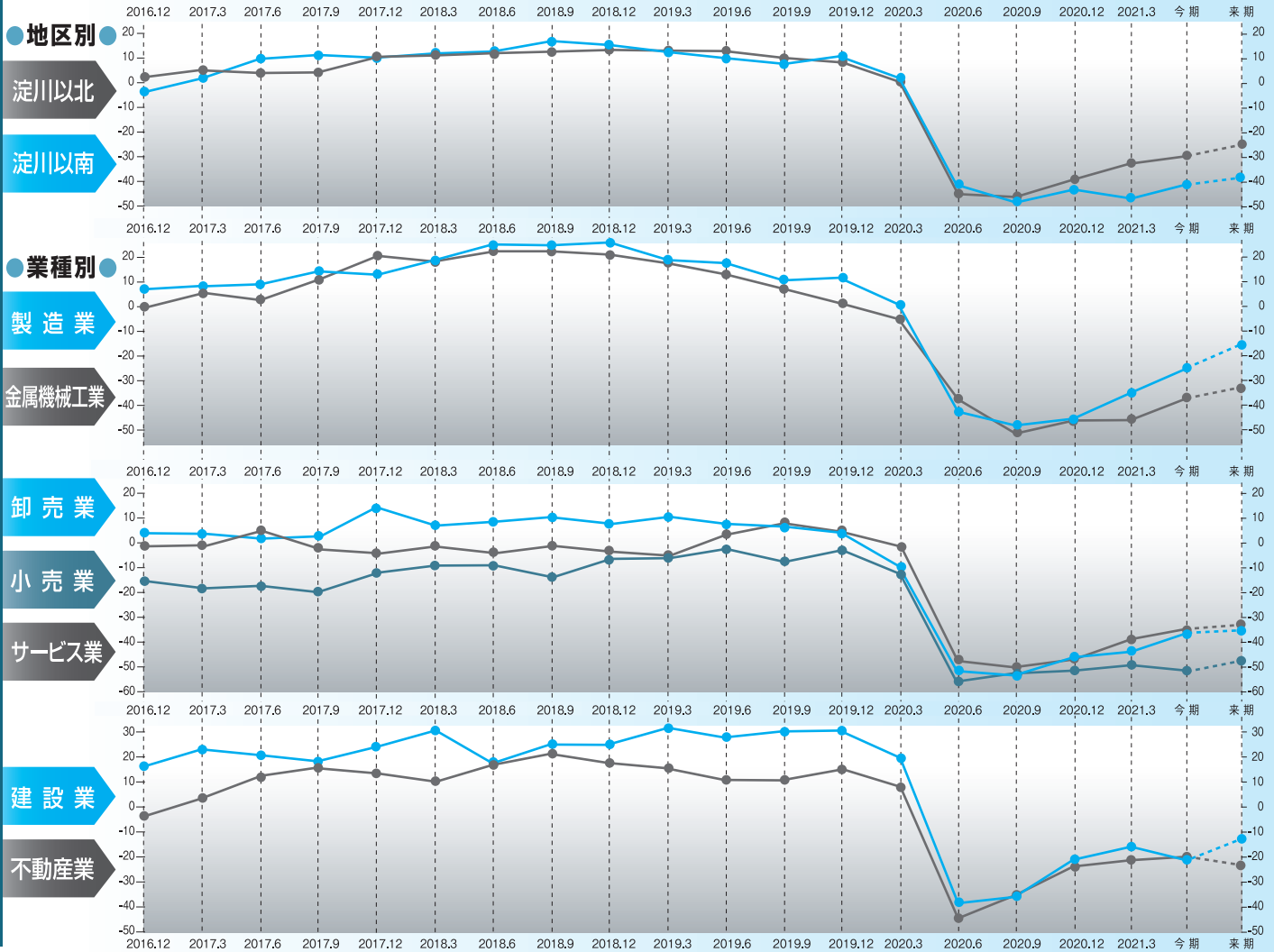


この街の未来をひらく

北おおさか信用金庫



©2021 北おおさか信用金庫



INDEX

地区別・業種別 業況判断DI来期予想までの推移・目次	1
調査概要	2
全業種総合	3・4
製造業	5
金属機械工業	6
卸売業	7
小売業	8
サービス業	9
建設業	10
不動産業	11
特別調査「新型コロナウイルス感染症が 業績に与えている影響について」	12・13・14

〈調査概要〉 調査対象……………地元企業1,200社(有効回答1,200社)
 調査時期……………2021年6月
 調査対象期間…2021年4月～6月期 当期の実績(2021年1月～3月期との比較)
 2021年7月～9月期 来期の見通し(2021年4月～6月期との比較)
 調査方法……………当金庫職員による調査表に基づく聞き取り調査
 分析方法……………DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

●DIとは

各調査項目について「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽・容易」の回答割合から、「悪い」「減少」「低下」「不足」「苦しい・難しい」の回答割合を差引いた数値です(普通、変わらず、適正は除外しております)。

(例) 良い10%、やや良い20%、普通30%、やや悪い15%、悪い25%の場合

①良い = 良い10% + やや良い20% = 30%

②悪い = 悪い25% + やや悪い15% = 40%

DI = ① - ② = ▲10

●調査内容と注意点

- (1) 売上額、収益、受注残高、販売・仕入価格、在庫、資金繰り、残業時間は前期と比べた当期の状況(来期見通しは当期と比べた来期予想)です。
- (2) 業況、人手、借入の難易度は、前期比ではなく、その時点での状況です。

●各判断DIが示す内容

	(プラス)	(マイナス)
業 況	現状 「良い」	現状 「悪い」
売上額・収益	前期比「増加」	前期比「減少」
受注残高・残業時間	前期比「増加」	前期比「減少」
販売価格・仕入価格	前期比「価格上昇」	前期比「価格下降」
(原材料)在庫	前期比「過剰」	前期比「不足」
資金繰り	前期比「楽」	前期比「苦しい」
人 手	現状 「過剰」	現状 「不足」
借入の難易度	現状 「容易」	現状 「難しい」

※DIプラスが良いとは限りません(例:仕入価格判断DIプラスは前期比価格上昇)

■対象企業の業種・従業員別構成

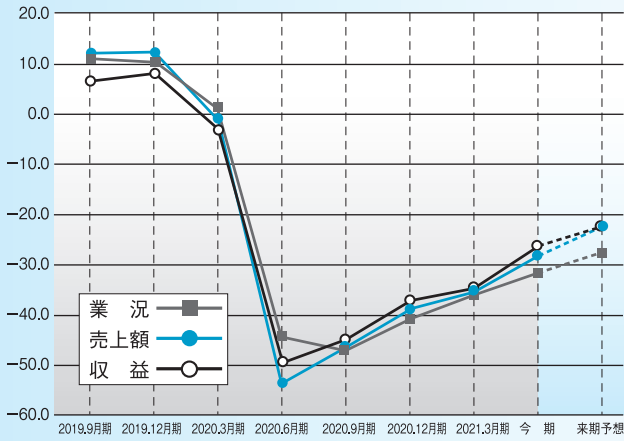
	4名以下	5～9名	10～19名	20～29名	30～49名	50～99名	100名以上	合 計(構成比)	
製 造 業	35	48	52	26	17	12	10	200	16.7%
金属機械工業	56	59	36	21	16	6	6	200	16.7%
卸 売 業	46	29	19	14	8	2	2	120	10.0%
小 売 業	85	24	18	6	4	9	4	150	12.5%
サービス業	60	35	33	15	26	23	8	200	16.7%
建 設 業	59	63	53	15	3	5	2	200	16.7%
不 動 産 業	80	34	11	2	2	0	1	130	10.8%
合 計	421	292	222	99	76	57	33	1,200	100.0%
(構成比)	35.1%	24.3%	18.5%	8.3%	6.3%	4.8%	2.8%	100.0%	—

*製造業の構成比が他5業種と比較して大きいため、製造業のうち金属機械工業を1業種として分割しております。

●調査地域

淀川以北:島本町、高槻市、茨木市、吹田市、摂津市、豊中市、箕面市、池田市、伊丹市、尼崎市、東淀川区、淀川区、西淀川区 他 淀川以北
 淀川以南:寝屋川市、門真市、守口市、北区、西区、中央区、城東区、旭区、住吉区、此花区、福島区 他 淀川以南

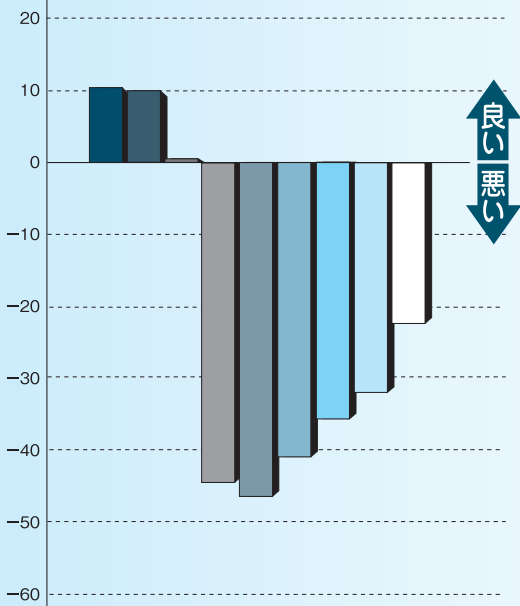
■ 業況・売上額・収益



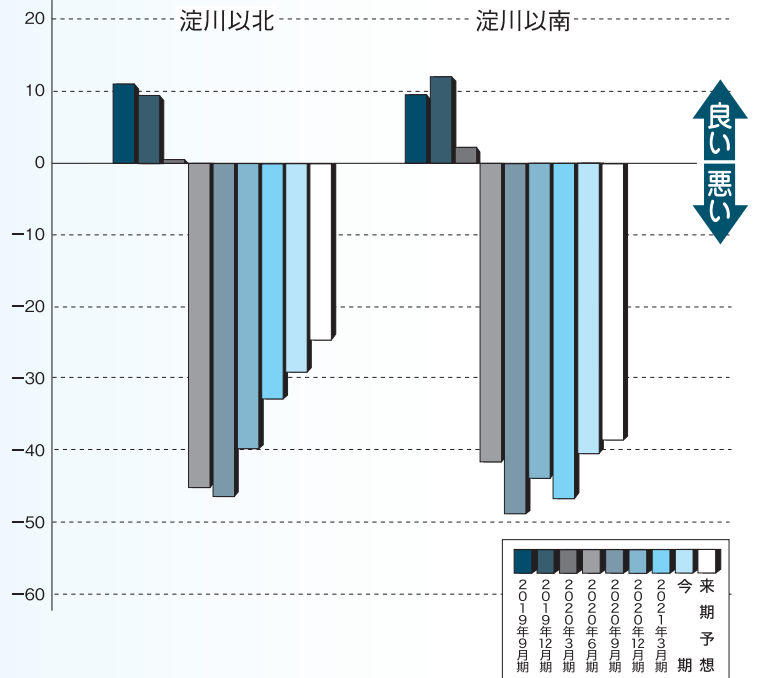
■ 全業種総合 DI値の推移

	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	今期	来期予想
業況	10.6	10.0	0.7	-44.6	-46.7	-40.1	-35.5	-31.7	-27.5
売上額	11.8	12.0	-1.6	-53.7	-46.1	-38.0	-35.2	-28.1	-22.2
受注残	11.1	14.1	1.1	-46.8	-44.9	-38.0	-34.5	-23.3	-15.9
施工高	25.0	30.5	11.5	-33.8	-26.5	-22.0	-19.0	-17.5	-14.5
収益	6.3	7.9	-2.8	-49.6	-44.1	-37.1	-34.7	-26.5	-22.2
販売価格	4.9	7.4	3.3	-8.0	-6.3	-5.8	-6.2	-3.0	-2.5
原材料・仕入価格	11.6	14.1	9.3	0.8	1.4	1.0	2.0	12.6	11.6
在庫	-1.5	-0.5	-1.5	-3.7	-4.4	-4.4	-3.5	-4.1	-4.6
資金繰り	0.2	0.0	-3.7	-20.3	-12.6	-10.5	-8.1	-5.0	-5.1
従業員残業時間	5.7	6.1	2.5	-26.4	-22.6	-17.5	-14.0	-13.7	-11.9
従業員人手	-20.5	-20.2	-17.6	-6.2	-2.9	-5.8	-6.2	-4.9	-4.6
設備状況	-7.8	-7.5	4.4	-4.8	-3.8	-3.9	-4.1	-4.1	-4.4

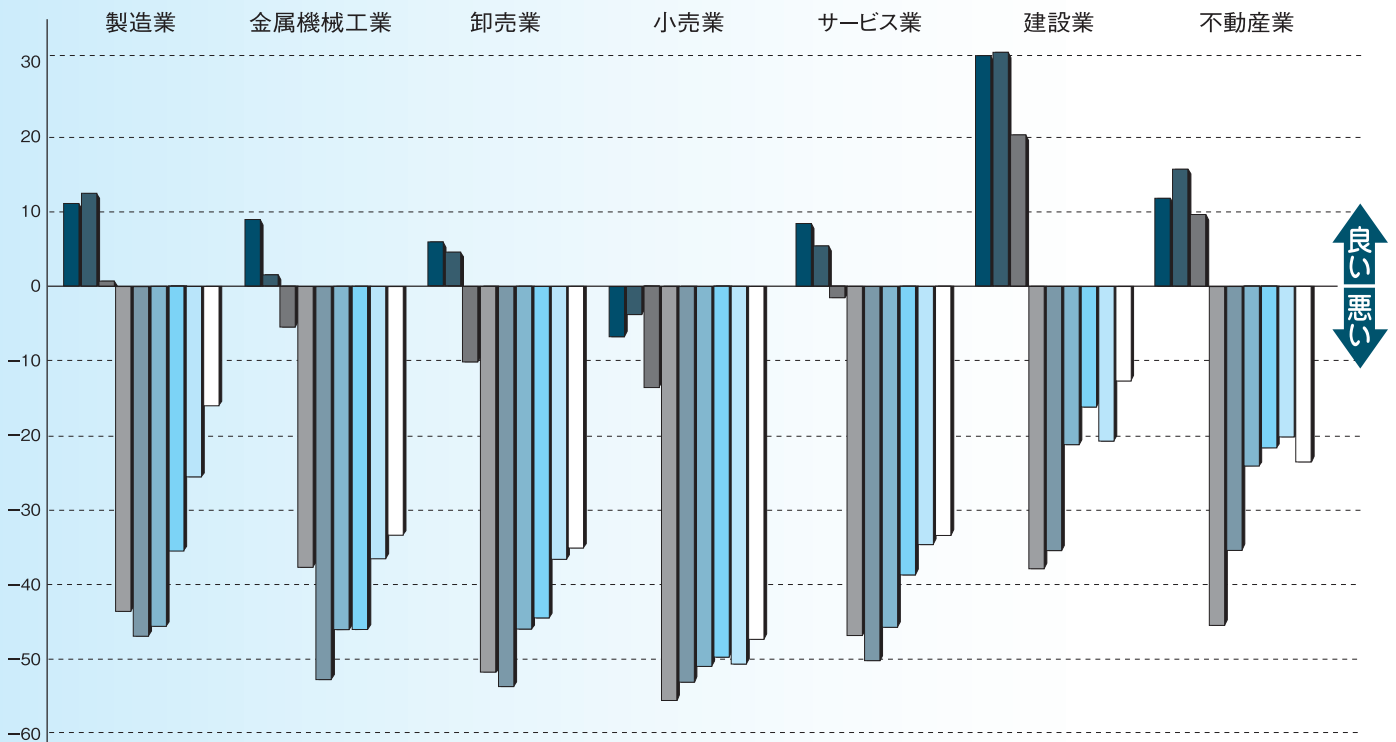
■ 全体業況判断DI



■ 地区別業況判断DI



■ 業種別業況判断DI



業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比3.8ポイント増の改善～

2021年4月～6月期、全業種の業況判断(DI)は▲31.7(前期比3.8ポイント増)と改善。

来期予想の業況判断(▲27.5)は、水準としては依然としてかなり厳しい状況が続くものの、改善の見通し。

《業種別》

—製造業は大幅改善、小売業・建設業除くその他業種もそれぞれ改善—

業種別にみると、「製造業」▲25.0(前期比10.5ポイント増)で大幅に改善したほか、「金属機械工業」▲36.6(同9.4ポイント増)、「卸売業」▲36.6(同7.6ポイント増)、「サービス業」▲34.5(同4.0ポイント増)、「不動産業」▲20.0(同1.5ポイント増)でもそれぞれ改善。「小売業」は▲51.3(同1.9ポイント減)、「建設業」は▲20.5(同5.0ポイント減)とそれぞれ悪化した。

～淀川以北地域、淀川以南地域ともに改善～

地域別にみると、淀川以北地域の業況判断(DI)は▲29.0(前期比3.3ポイント増)、淀川以南地域は▲40.9(同5.8ポイント増)とともに改善。淀川以北地域の業種別では、製造業(前期▲31.7→今期▲19.6)で大幅改善したほか、金属機械工業(同▲44.1→同▲36.7)、卸売業(同▲39.5→同▲33.8)、サービス業(同▲37.2→同▲32.0)、不動産業(同▲20.2→同▲17.2)で改善。建設業(同▲11.0→同▲18.4)、小売業(同▲44.3→同▲47.9)で悪化した。淀川以南地域の業種別では、金属機械工業(同▲53.9→同▲36.8)はかなり大幅に改善。卸売業(同▲53.8→同▲43.2)は大幅に改善し、製造業(同▲46.2→同▲40.4)、建設業(同▲35.1→同▲29.7)、小売業(同▲65.7→同▲62.9)とそれぞれ改善。不動産業(同▲25.8→同▲29.0)は悪化。サービス業(同▲43.6→同▲43.9)はほぼ横ばいとなった。

来期の業況判断予想は、淀川以北地域(▲24.6)、淀川以南地域(▲38.0)ともに改善の見通し。

売上額・収益の動き

～売上額は前期比7.1ポイント増、収益は前期比8.2ポイント増の改善～

売上額判断(DI)は▲28.1(前期比7.1ポイント増)、収益判断(DI)は▲26.5(同8.2ポイント増)と、ともに改善。

来期予想の売上額判断(▲22.2)、収益判断(▲22.2)は、依然としてかなり厳しい状況ながら、ともに改善の見通し。

販売価格・原材料・仕入価格の動き

～販売価格は改善、原材料(仕入)価格は大幅な悪化～

販売価格判断(DI)は▲3.0(前期比3.2ポイント増)と改善。原材料・仕入価格判断(DI)は12.6(同10.6ポイント増)と、大幅な悪化。

来期予想の販売価格判断(▲2.5)、原材料・仕入価格判断(11.6)は、ともに小幅改善の見通し。

資金繰り・雇用の動き

～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は小幅縮小～

資金繰り判断(DI)は▲5.0(前期比3.1ポイント増)と改善。

人手判断(DI)は▲4.9(同1.3ポイント増)と「不足」超幅を小幅縮小。人手判断の内訳は、不足とする企業の割合は前期10.3%→今期8.7%と小幅減少した一方、人手過剰とする企業の割合は同4.1%→同3.8%と小幅減少したほか、適正とした企業の割合は同85.6%→同87.5%と小幅増加。

来期予想の資金繰り判断(▲5.1)はほぼ横ばい、人手判断(▲4.6)は「不足」超幅を小幅縮小の見通し。

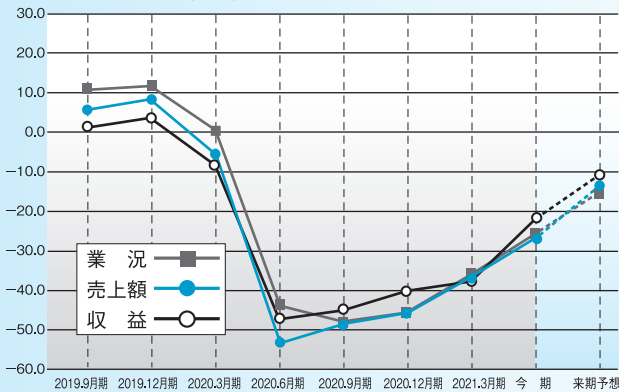
経営上の問題点

	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 48.0%	同業者間の競争の激化 43.0%	利幅の縮小 23.5%	人手不足 18.5%	原材料・料金価格高 17.0%
金属機械工業	売上の停滞・減少 48.7%	同業者間の競争の激化 43.7%	原材料・料金価格高 21.6%	利幅の縮小 20.1%	人手不足 18.1%
卸売業	売上の停滞・減少 55.8%	同業者間の競争の激化 54.2%	利幅の縮小 25.8%	輸入品との競争の激化 15.0%	為替レートの変動 8.3%
小売業	売上の停滞・減少 65.1%	同業者間の競争の激化 34.2%	大型店との競争の激化 27.5%	商店街の集客力の低下 24.2%	商圏人口の減少 17.4%
サービス業	同業者間の競争の激化 51.5%	売上の停滞・減少 50.0%	人手不足 21.5%	利幅の縮小 16.5%	人件費の増加 12.0%
建設業	同業者間の競争の激化 46.5%	売上の停滞・減少 42.0%	人手不足 32.0%	利幅の縮小 21.0%	原材料・材料価格高 20.0%
不動産業	商品物件の不足 61.5%	同業者間の競争の激化 54.6%	商品物件の高騰 30.8%	売上の停滞・減少 27.7%	大企業との競争の激化 15.4%

当面の重点経営施策

	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	販路を広げる 72.0%	経費を節減 47.5%	情報力を強化 28.5%	新製品・技術を開発 22.0%	人材確保 18.5%
金属機械工業	販路を広げる 64.5%	経費を節減 54.5%	情報力を強化 25.0%	人材確保 22.5%	・新製品・技術を開発 ・提携先を見つける 14.5%
卸売業	販路を広げる 75.8%	経費を節減 57.5%	情報力を強化 25.8%	品揃えを充実 19.2%	提携先を見つける 15.8%
小売業	経費を節減 66.4%	宣伝・広告の強化 47.0%	売れ筋商品を取扱う 33.6%	品揃えを充実 27.5%	商店街事業を活性化 18.8%
サービス業	経費を節減 56.5%	販路を広げる 55.5%	宣伝・広告の強化 30.0%	人材確保 22.5%	提携先を見つける 12.5%
建設業	販路を広げる 56.8%	経費を節減 54.8%	人材確保 40.7%	情報力を強化 31.7%	技術力を強化 20.6%
不動産業	情報力を強化 71.5%	販路を広げる 41.5%	宣伝・広告の強化 39.2%	経費を節減 38.5%	・提携先を見つける ・不動産の有効活用 9.2%

■ 業況・売上額・収益



■ 製造業 DI値の推移

	2019.9月期	2019.12月期	2020.3月期	2020.6月期	2020.9月期	2020.12月期	2021.3月期	今期	来期予想
業況	10.5	12.0	0.5	-43.0	-47.5	-45.5	-35.5	-25.0	-15.5
売上額	5.5	8.0	-6.0	-53.5	-48.5	-45.5	-36.5	-25.5	-12.0
受注残	4.5	7.5	-5.0	-49.5	-48.5	-45.5	-36.0	-19.5	-10.0
収益	1.0	3.5	-8.0	-47.5	-45.0	-40.0	-37.5	-21.0	-10.5
販売価格	2.5	3.5	-1.5	-7.0	-7.0	-5.0	-7.5	-5.0	-4.0
原材料価格	10.0	13.5	9.5	3.0	1.5	1.0	1.0	11.0	9.5
在庫	3.0	2.5	1.0	-0.5	-4.0	-4.5	-5.5	-1.5	-2.0
資金繰り	0.0	4.5	-1.0	-16.5	-8.5	-8.0	-4.5	1.5	2.0
従業員残業時間	3.5	6.5	1.0	-28.5	-27.0	-22.5	-13.5	-10.5	-8.0
従業員人手	-22.0	-24.5	-23.0	-9.5	-1.5	-5.0	-6.0	-6.5	-5.5
設備状況	-12.5	-9.0	-7.0	-6.5	-8.0	-9.5	-8.6	-8.6	-8.5

■ 業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比10.5ポイント増の改善～

2021年4月～6月期、製造業の業況判断(DI)は▲25.0(前期比10.5ポイント増)と改善。最多納入先別にみる業況判断(DI)では、「中小メーカー向け」(前期▲45.3→今期▲26.4)でかなり大幅改善したほか、「問屋・商社向け」(同▲43.5→同▲37.5)でも改善。「大メーカー向け」(同▲22.0→同▲22.0)や「小売・最終需要家向け」(同▲9.5→同▲10.0)はほぼ横ばい。来期予想の業況判断(▲15.5)は改善の見通し

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	200	24	50	106	20
良い～悪い	-50	-9	-11	-28	-2
DI	-25.0	-37.5	-22.0	-26.4	-10.0

■ 売上額・収益・受注残の動き

～売上額、収益、受注残はいずれも大幅改善～

売上額判断(DI)は▲25.5(前期比11.0ポイント増)、収益判断(DI)は▲21.0(同16.5ポイント増)、受注残判断(DI)は▲19.5(同16.5ポイント増)と、いずれも大幅改善。来期予想は売上額判断(▲12.0)、収益判断(▲10.5)、受注残判断(▲10.0)ともに大幅改善の見通し。

■ 販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は小幅改善、原材料価格は大幅悪化～

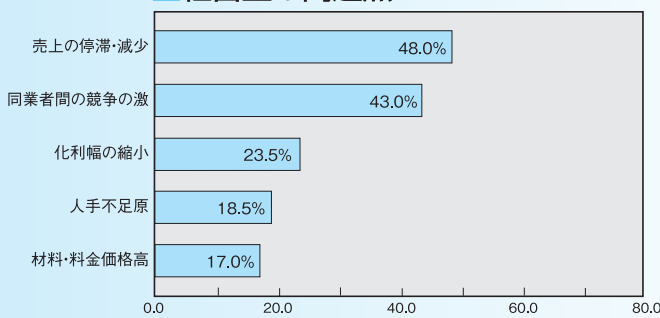
販売価格判断(DI)は▲5.0(前期比2.5ポイント増)と小幅改善。一方、原材料価格判断(DI)は11.0(同10.0ポイント増)と大幅悪化。来期予想の販売価格判断(▲4.0)、原材料価格判断(9.5)は、ともに小幅改善の見通し。

■ 資金繰り・雇用面の動き

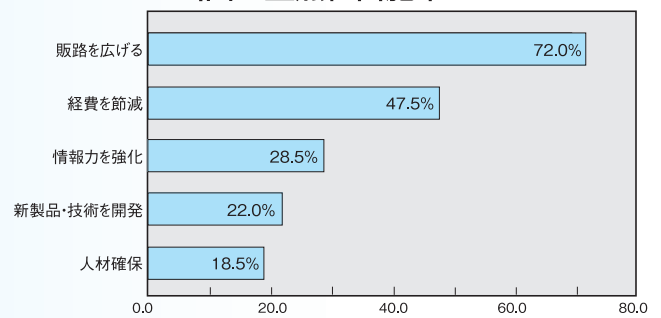
～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は小幅拡大～

資金繰り判断(DI)は1.5(前期比6.0ポイント増)と改善。人手判断(DI)は▲6.5(同0.5ポイント減)と「不足」超幅を小幅拡大。人手判断の内訳は、不足とした企業は前期9.0%→今期9.5%と小幅増加した一方、人手過剰とした企業の割合は前期3.0%→今期3.0%と横ばいであり、適正とした企業の割合は同88.0%→同87.5%とほぼ横ばいであった。来期予想の資金繰り判断(2.0)はほぼ横ばい、人手判断(▲5.5)は「不足」超幅を小幅縮小の見通し。

■ 経営上の問題点



■ 当面の重点経営施策

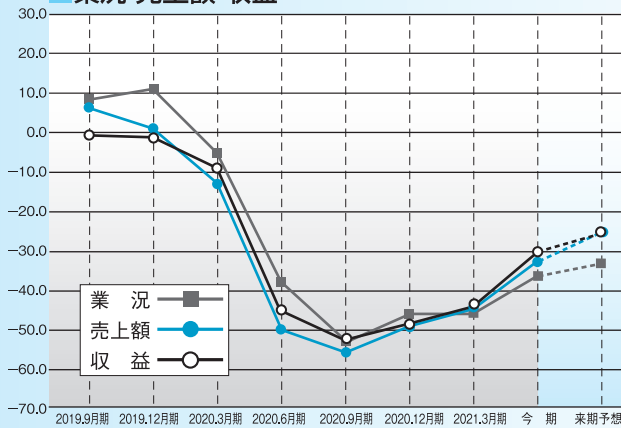


■ 企業のコメント



- ・ 売上・受注ともに回復傾向。夏以降の受注についても固まってきている。(製品加工業)
- ・ 受注回復傾向にあり、売上・利益ともに増加している。(建具製造業)
- ・ 主要取引先から受注増を依頼されており設備増設を検討中。(ロール紙製造)
- ・ コロナの影響は多少あったが、数%程度の受注減少で済んでいる。(プラスチック製造)
- ・ 現在、ネット販売に注力しているが、なかなか売上増加にはつながらず。(電子表示装置製造)
- ・ 新型コロナウイルスの影響により業況悪化傾向。原材料も高騰しており厳しい。(鉄工業)

業況・売上額・収益



金属機械工業 DI値の推移

	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	今期	来期予想
業況	8.5	1.5	-5.0	-37.5	-52.5	-46.0	-46.0	-36.6	-33.0
売上額	6.0	1.0	-12.5	-50.0	-55.0	-49.0	-44.5	-32.0	-25.0
受注残	3.0	3.5	-9.0	-50.0	-54.5	-47.5	-46.0	-31.0	-26.0
収益	-0.5	-1.0	-9.5	-45.0	-52.5	-48.5	-44.0	-30.0	-25.0
販売価格	-1.0	2.5	1.5	-4.0	-4.5	-6.0	-8.0	-1.0	-1.0
原材料価格	6.0	8.0	8.5	-1.0	2.0	-1.5	2.5	22.0	18.0
在庫	0.0	0.0	2.0	0.5	-1.0	0.5	-0.5	-2.0	-1.0
資金繰り	6.0	3.0	-0.5	-14.0	-7.5	-8.0	-6.0	1.0	0.0
従業員残業時間	6.0	3.0	-1.5	-22.0	-29.0	-25.5	-20.0	-13.5	-10.0
従業員人手	-22.0	-19.0	-11.0	-10.0	1.0	-3.5	-6.5	-4.0	-5.0
設備状況	-10.5	-12.0	12.5	-8.0	-6.5	-6.0	-8.0	-8.0	-8.5

業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比9.4ポイント増の改善～

2021年4月～6月期、金属機械工業の業況判断(DI)は、▲36.6(前期比9.4ポイント増)と改善。最多納入先別の業況判断(DI)は、「中小メーカー向け」(同▲59.6→同▲43.5)、や「問屋・商社向け」(同▲46.7→同▲30.8)は大幅改善した一方、「大メーカー向け」(前期▲27.1→今期▲28.6)や、「小売・最終需要家向け」(同▲16.7→同▲25.0)は悪化した。来期予想の業況判断(▲33.0)は改善の見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	199	13	70	108	8
良い～悪い	-73	-4	-20	-47	-2
DI	-36.6	-30.8	-28.6	-43.5	-25.0

売上額・収益・受注の動き

～売上額、受注残、収益はいずれも大幅改善～

売上額判断(DI)は▲32.0(前期比12.5ポイント増)、収益判断(DI)は▲30.0(同14.0ポイント増)、受注残判断(DI)は▲31.0(同15.0ポイント増)と、いずれも大幅改善。来期予想の売上額判断(▲25.0)、受注残判断(▲26.0)、収益判断(▲25.0)は、いずれも改善の見通し。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は改善、原材料価格は大幅悪化～

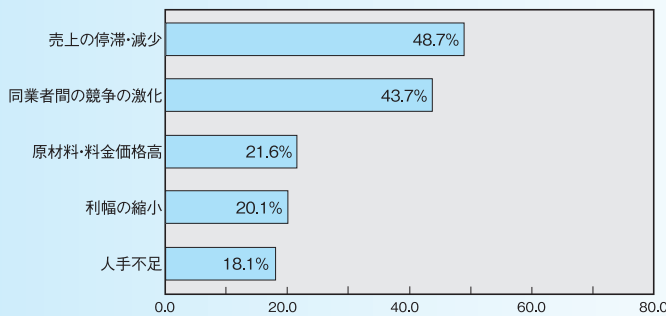
販売価格判断(DI)は▲1.0(前期比7.0ポイント増)と改善したほか、原材料価格判断(DI)は22.0(同19.5ポイント増)と大幅悪化。来期予想の販売価格判断(▲1.0)は横ばい、原材料価格判断(18.0)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

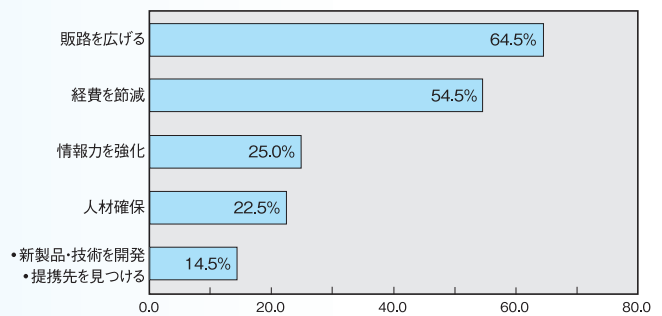
～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は縮小～

資金繰り判断(DI)は1.0(前期比7.0ポイント増)と改善。人手判断(DI)は▲4.0(同2.5ポイント増)と「不足」超幅を縮小。人手判断の内訳は、適正とした企業の割合は前期84.5%→今期89.0%と増加した一方、人手過剰とした企業の割合は同4.5%→同3.5%と小幅減少したほか、不足とした企業の割合は同11.0%→同7.5%と減少。来期予想の資金繰り判断(0.0)は小幅悪化、人手判断(▲5.0)は「不足」超幅を小幅拡大の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

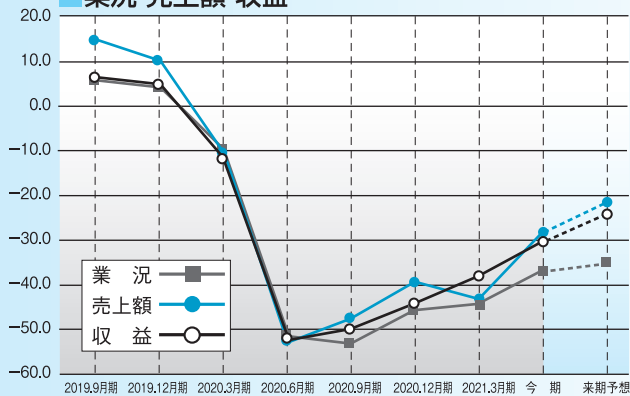


企業のコメント



- ・売上は増加傾向にあり、コロナの影響は受けていない。(金属加工)
- ・コロナの影響はあるが、小さく例年程度の推移とのこと。(鍍金加工)
- ・取引先からの受注はコロナの影響に関係なく安定的に推移。(ステンレス製品)
- ・コロナの影響は少なく、売上・利益ともに安定している。(精密バネ製造)
- ・受注減少しているが、助成金等を活用する予定。(金属製品製造)

業況・売上額・収益



卸売業 DI値の推移

	2019.9月期	2019.12月期	2020.3月期	2020.6月期	2020.9月期	2020.12月期	2021.3月期	今期	来期予想
業況	5.9	4.2	-10.0	-51.7	-53.3	-45.8	-44.2	-36.6	-35.0
売上額	15.0	10.0	-10.8	-53.3	-47.5	-39.1	-43.4	-27.5	-21.7
収益	6.6	5.0	-11.7	-52.5	-50.0	-44.2	-37.5	-30.0	-24.2
販売価格	2.5	5.0	-1.6	-13.3	-10.0	-13.3	-10.0	-3.4	-3.4
仕入価格	6.7	6.7	2.5	-2.5	1.7	-3.3	-1.6	10.9	9.1
在庫	-0.9	0.8	2.5	6.6	5.8	7.5	10.8	5.0	3.3
資金繰り	-0.8	2.5	-1.7	-20.8	-12.5	-12.5	-12.5	-5.8	-8.4
従業員残業時間	4.2	4.1	-1.7	-23.4	-27.5	-17.5	-10.8	-14.3	-14.2
従業員人手	-8.4	-10.8	-3.4	2.5	2.5	5.8	0.8	-2.5	-1.7
設備状況	-4.2	-3.4	-2.5	-2.5	0.0	1.7	1.7	1.7	0.8

業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比7.6ポイント増の改善～

2021年4月～6月期、卸売業の業況判断(DI)は▲36.6(前期比7.6ポイント増)と改善。最多納入先別の業況判断(DI)は、「問屋・商社向け」(同▲27.3→同▲16.0)は大幅改善、「中小メーカー向け」(前期▲50.0→今期▲42.6)、「小売業者向け」(同▲51.4→同▲46.9)、「大メーカー向け」(同▲35.3→同▲31.3)は、ともに改善。来期予想の業況判断(▲35.0)は改善の見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売業者
全体	120	25	16	47	32
良い～悪い	-44	-4	-5	-20	-15
DI	-36.6	-16.0	-31.3	-42.6	-46.9

売上額・収益の動き

～売上額は大幅改善、収益は改善～

売上額判断(DI)は▲27.5(前期比15.9ポイント増)と大幅改善、収益判断(DI)は▲30.0(同7.5ポイント増)と改善。来期予想の売上額判断(▲21.7)、収益判断(▲24.2)は、ともに改善の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は改善、仕入価格は大幅な悪化～

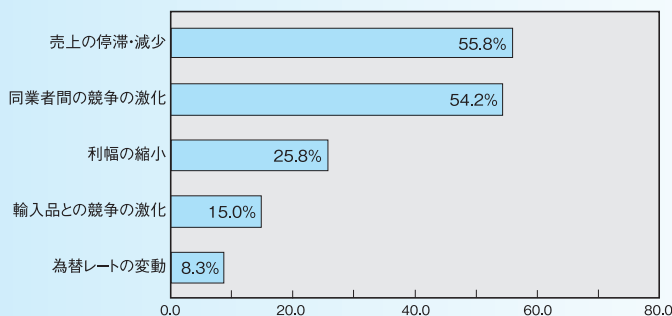
販売価格判断(DI)は▲3.4(前期比6.6ポイント増)と改善。一方、仕入価格判断(DI)は10.9(同12.5ポイント増)と大幅な悪化。来期予想の販売価格(▲3.4)と横ばい、仕入価格判断(9.1)と小幅改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

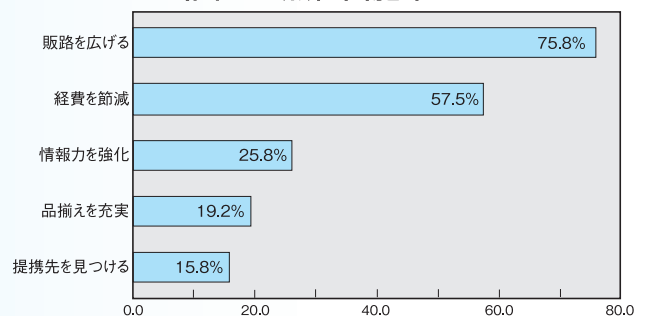
～資金繰りは改善、人手「不足」超に転化～

資金繰り判断(DI)は▲5.8(前期比6.7ポイント増)と改善。人手判断(DI)は▲2.5(同3.3ポイント減)と「不足」超に転化。人手判断の内訳は、適正とした企業の割合は前期90.8%→今期92.5%と小幅な増加、人手過剰とした企業の割合は同5.0%→同2.5%と小幅減少したほか、不足とした企業の割合は同4.2%→同5.0%と小幅増加。来期予想の資金繰り判断(▲8.4)は小幅な悪化、人手判断(▲1.7)は「不足」超幅が小幅縮小の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

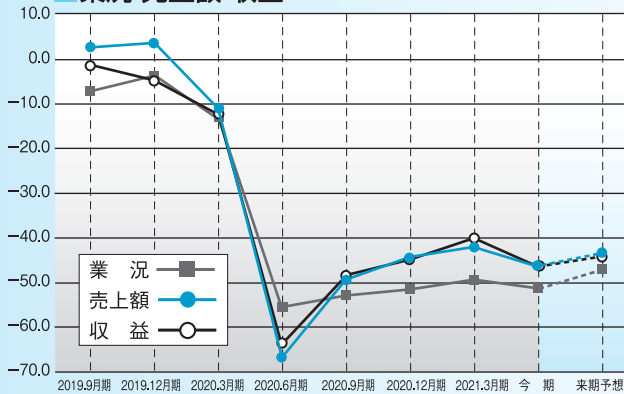


企業のコメント



- ・ 営業活動自粛しているが、売上は順調。(化粧品卸売)
- ・ コロナの影響は続いており、自動車メーカーからの部品の発注が減少している。(自動車部品)
- ・ 売上安定しており、今後も影響はさほどない予想。(特殊形水路)
- ・ コロナの影響を受けることなく、売上が安定している。(食品包装容器)
- ・ コロナの影響により、受注が一部減少。コロナ長期化による先行き不安。(合成樹脂製品)
- ・ 緊急事態宣言再発令により、水族館・遊園地などの営業が縮小、影響が出ている。(雑貨)

業況・売上額・収益



小売業 DI値の推移

	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	今期	来期予想
業況	-6.7	-3.4	-13.3	-55.3	-52.6	-51.4	-49.4	-51.3	-47.4
売上額	3.4	4.7	-10.7	-66.0	-49.3	-44.0	-42.0	-46.6	-43.3
収益	-1.3	-4.7	-12.6	-64.0	-48.7	-44.6	-40.0	-46.6	-44.0
販売価格	4.0	10.0	8.0	-6.7	-5.4	-6.7	-7.3	-6.7	-6.7
仕入価格	10.7	13.3	6.0	1.3	1.4	-2.7	-4.0	-2.0	-0.6
在庫	4.0	4.7	0.0	-0.6	-2.7	-3.3	1.3	1.3	1.4
資金繰り	-8.7	-7.3	-14.6	-34.7	-34.7	-26.0	-24.0	-24.0	-22.7
従業員残業時間	0.7	2.0	-0.7	-25.3	-16.0	-14.0	-16.7	-20.0	-21.3
従業員人手	-13.3	-10.0	-11.3	2.7	3.3	1.3	2.0	3.3	2.7
設備状況	-4.0	-3.3	-4.0	-3.4	-3.3	-4.0	-4.7	-4.7	-4.0

業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比1.9ポイント減の小幅悪化～

2021年4月～6月期、小売業の業況判断(DI)は▲51.3(前期比1.9ポイント減)と小幅悪化。店舗立地地域別の業況判断(DI)は、「住宅地隣接商店街」(前期▲47.7→今期▲42.6)は改善した一方、「駅周辺商店街」(同▲54.2→同▲56.5)で小幅悪化。「その他」(前期▲44.7→今期▲53.7)は悪化した。来期予想の業況判断(▲47.4)は改善の見通し。

◎店の立地地域別業況について(当期)

	合計	駅周辺商店街	住宅地隣接商店街	その他
全体	150	62	47	41
良い-悪い	-77	-35	-20	-22
DI	-51.3	-56.5	-42.6	-53.7

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに悪化～

売上額判断(DI)は▲46.6(前期比4.6ポイント減)、収益判断(DI)は▲46.6(同6.6ポイント減)と、ともに悪化。来期予想の売上額判断(▲43.3)、収益判断(▲44.0)はともに改善の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は小幅改善、仕入価格は悪化～

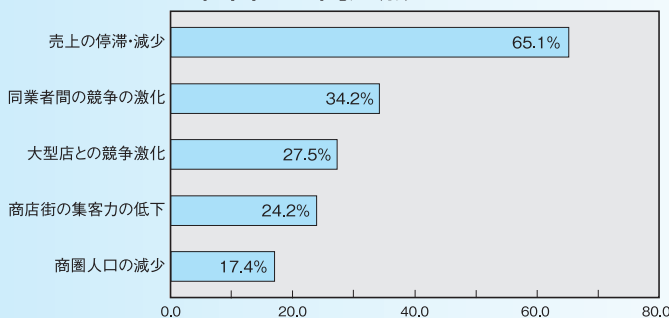
販売価格判断(DI)は▲6.7(前期比0.6ポイント増)と小幅改善、仕入価格判断(DI)は▲2.0(同2.0ポイント増)と悪化。来期予想の販売価格判断(▲6.7)は横ばい見通し。一方、仕入価格判断(▲0.6)は小幅悪化の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

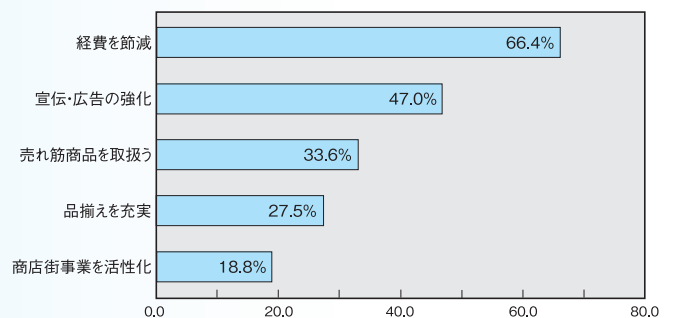
～資金繰りは横ばい、人手「過剰」超幅は小幅拡大～

資金繰り判断(DI)は▲24.0(前期比0.0)と横ばい。人手判断(DI)は3.3(同1.3ポイント増)と「過剰」超幅は小幅拡大。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期6.0%→今期6.0%と横ばいの一方、不足とした企業の割合は同4.0%→同2.7%と小幅減少したほか、適正とした企業は同90.0%→同91.3%と増加。来期予想の資金繰り判断(▲22.7)は改善、人手判断(2.7)は「過剰」超幅を小幅縮小の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

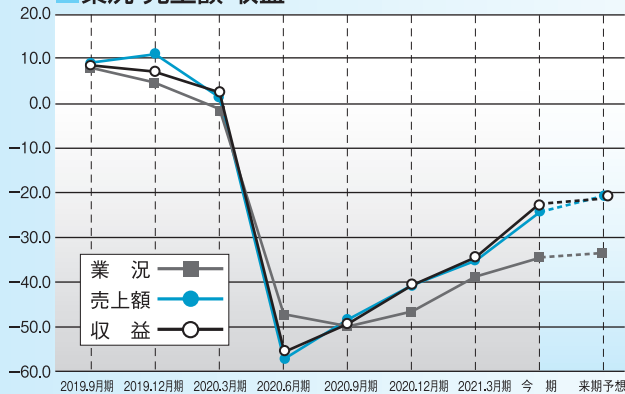


企業のコメント



- ・送別会シーズンや母の日の売上は昨年度より上昇し、例年通りの売上に少しずつ近づいている。(生花)
- ・近隣のスーパーが閉店したため、利用客が増加し、売上は前期より良くなっている。(米穀類)
- ・駅近くに店舗があり、駅利用者による売上が安定しているため、大きな影響はない。(弁当販売)
- ・新型コロナウイルスの影響は多少あるが、業況は現状を維持。(米穀店)
- ・緊急事態宣言・まん延防止法の措置により、店舗売上が大幅減少。一方、ネット販売は好調に推移しているため、注力していく。(喫茶店)
- ・時短営業及び緊急事態宣言が発令されてからは、店舗を休業しているため、全く売上無し。(居酒屋)

■ 業況・売上額・収益



■ サービス業 DI値の推移

	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	今期	来期予想
業況	8.0	5.0	-1.5	-47.0	-50.0	-46.0	-38.5	-34.5	-33.0
売上額	9.5	11.0	2.0	-57.0	-48.5	-40.5	-35.0	-24.0	-20.5
収益	9.0	7.5	2.5	-56.0	-49.0	-40.5	-34.5	-22.5	-20.5
料金価格	5.0	5.5	2.5	-6.0	-3.5	-2.5	-1.5	0.0	0.5
材料価格	8.0	9.0	7.5	-3.5	0.5	1.0	-0.5	2.0	0.5
資金繰り	-0.5	-7.0	-5.0	-30.5	-13.0	-12.0	-7.5	-10.0	-8.5
従業員残業時間	7.0	7.5	4.0	-28.0	-18.5	-14.5	-12.5	-13.5	-10.5
従業員人手	-20.5	-20.5	-18.5	-3.0	-7.0	-9.0	-6.5	-5.5	-3.5
設備状況	-5.5	-9.5	-7.5	-3.5	-2.0	-1.5	-1.0	-1.0	-2.0

業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比4.0ポイント増の改善～

2021年4月～6月期、サービス業の業況判断(DI)は▲34.5(前期比4.0ポイント増)と改善。
来期予想の業況判断(▲33.0)は改善の見通し。

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに大幅改善～

売上額判断(DI)は▲24.0(前期比11.0ポイント増)、収益判断(DI)は▲22.5(同12.0ポイント増)と、ともに大幅改善。
来期予想の売上額判断(▲20.5)、収益判断(▲20.5)は、ともに改善の見通し。

料金価格・材料価格の動き

～料金価格は小幅改善、材料価格は悪化～

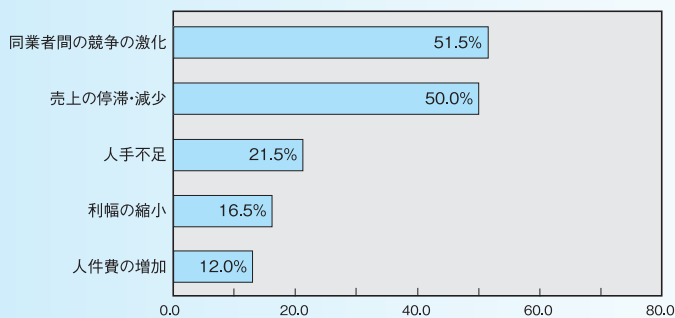
料金価格判断(DI)は0.0(前期比1.5ポイント増)と小幅改善。
材料価格判断(DI)は2.0(同2.5ポイント増)と悪化。
来期予想の料金価格判断(0.5)、材料価格判断(0.5)はともに小幅改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

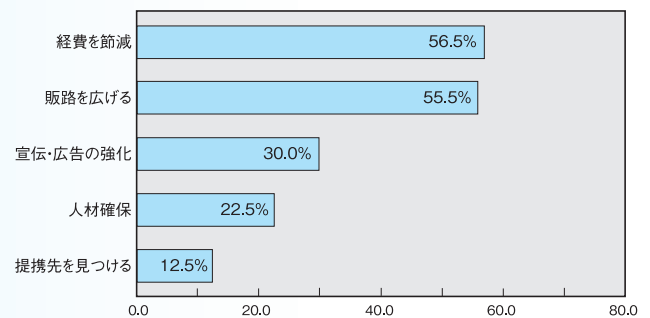
～資金繰りは悪化、人手「不足」超幅は小幅縮小～

資金繰り判断(DI)は▲10.0(前期比2.5ポイント減)と悪化。
人手判断(DI)は▲5.5(同1.0ポイント増)と「不足」超幅が小幅縮小。人手判断の内訳は、人手不足とした企業の割合は前期12.0%→今期11.5%と小幅減少、人手過剰とした企業の割合は同5.5%→同6.0%と小幅増加、適正とした企業の割合は同82.5%→同82.5%と横ばい。
来期予想の資金繰り判断(▲8.5)は小幅改善、人手判断(▲3.5)は「不足」超幅を小幅縮小の見通し。

■ 経営上の問題点



■ 当面の重点経営施策

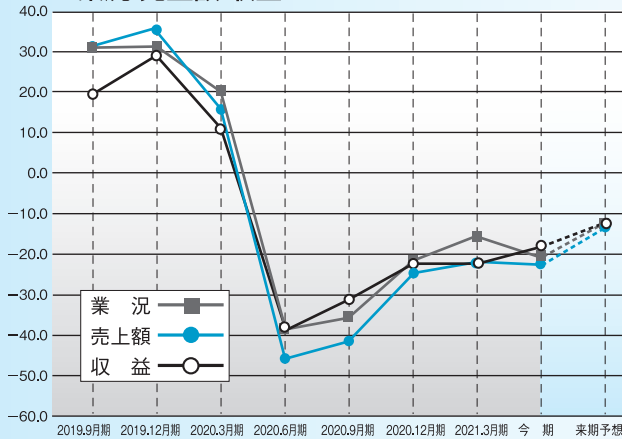


企業のコメント



- ・コンスタントな集客ができており、リピーターも多い。キャンペーンについても計画・実行している。(美容業)
- ・パーティーのレンタルが多く、売上が少しずつ上がっている。(レンタル業)
- ・緊急事態宣言下においても来院は減少しておらず、売上確保できている。(整骨院)
- ・コロナの影響はほぼない。生徒数の大きな落ち込みなども見られない。(スポーツクラブ運営)
- ・修学旅行等が延期になり売上減少。回復の見込みなし。(旅行代理店)
- ・顧客外出自粛しており、来店客数減少している。(美容院)

■業況・売上額・収益



■建設業 DI値の推移

	2019.9月期	2019.12月期	2020.3月期	2020.6月期	2020.9月期	2020.12月期	2021.3月期	今期	来期予想
業況	31.0	31.0	20.0	-38.0	-35.5	-21.5	-15.5	-20.5	-12.5
売上額	31.0	35.5	16.0	-45.5	-41.0	-24.5	-22.0	-22.5	-13.0
受注残	26.0	31.5	17.5	-41.0	-31.5	-21.0	-21.5	-19.5	-11.5
施工高	25.0	30.5	11.5	-33.5	-26.5	-22.0	-19.0	-17.5	-14.5
収益	20.0	29.0	11.0	-38.0	-31.0	-22.0	-22.0	-18.0	-12.5
請負価格	12.5	14.5	8.5	-8.5	-5.5	-5.5	-8.5	-5.5	-5.0
原材料仕入価格	15.5	21.0	14.5	7.5	3.5	3.5	3.0	18.5	19.0
在庫	1.0	2.0	0.0	-8.5	-4.5	-1.5	-2.0	-3.0	-4.5
資金繰り	3.0	6.5	-1.0	-11.0	-6.5	-4.5	-4.0	-1.5	-2.5
従業員残業時間	14.5	14.5	10.5	-28.0	-17.0	-10.5	-10.5	-11.0	-10.0
従業員人手	-39.5	-39.0	-36.0	-18.2	-12.0	-20.5	-18.0	-13.0	-13.5
設備状況	-7.5	-5.0	-3.0	-3.5	-1.5	-2.0	-2.0	-2.0	-2.0

■業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比5.0ポイント減の悪化～

2021年4月～6月期、建設業の業況判断(DI)は▲20.5(前期比5.0ポイント減)と悪化。請負先別の業況(DI)は、「大企業向け」(前期▲11.1→今期▲20.0)、「中小企業向け」(同▲21.2→同▲29.8)は悪化した一方、「個人向け」(同▲23.5→同▲22.2)、「官公庁向け」(同▲5.7→同3.0)は改善となった。来期予想の業況判断(▲12.5)は改善の見通し。

◎最多請負先別の業況について(当期)

	合計	官公庁	大企業	中小企業	個人
全体	200	33	65	84	18
良い～悪い	-41	1	-13	-25	-4
DI	-20.5	3.0	-20.0	-29.8	-22.2

■売上額・収益・受注残の動き

～売上額はほぼ横ばい、収益・受注残は改善～

売上額判断(DI)は▲22.5(前期比0.5ポイント減)とほぼ横ばい。受注残判断(DI)は▲19.5(同2.0ポイント増)、収益判断(DI)は▲18.0(同4.0ポイント増)と、ともに改善となった。来期予想の売上額判断(▲13.0)、受注残判断(▲11.5)、収益判断(▲12.5)はいずれも改善の見通し。

■請負価格・原材料価格の動き

～請負価格は改善、原材料価格はかなり大幅な悪化～

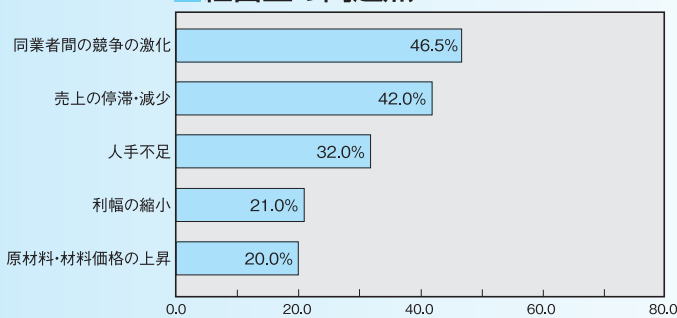
請負価格判断(DI)は▲5.5(前期比3.0ポイント増)と改善。一方、原材料価格判断(DI)は18.5(同15.5ポイント増)と、かなり大幅な悪化。来期予想の請負価格判断(▲5.0)、原材料価格判断(19.0)はほぼ横ばいの見通し。

■資金繰り・雇用面の動き

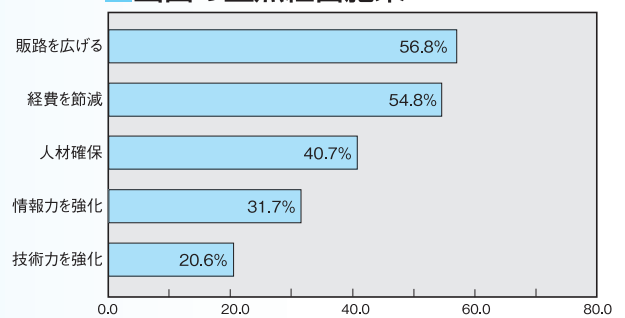
～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は縮小～

資金繰り判断(DI)は▲1.5(同2.5ポイント増)と改善。人手判断(DI)は▲13.0(同5.0ポイント増)と「不足」超幅が縮小。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期2.5%→今期3.0%とほぼ横ばいのほか、適正とした企業の割合は同77.0%→同81.0%と増加した。また、人手不足とした企業の割合は同20.5%→同16.0%と減少。来期予想の資金繰り判断(▲2.5)はやや悪化、人手判断(▲13.5)はほぼ横ばいの見通し。

■経営上の問題点



■当面の重点経営施策

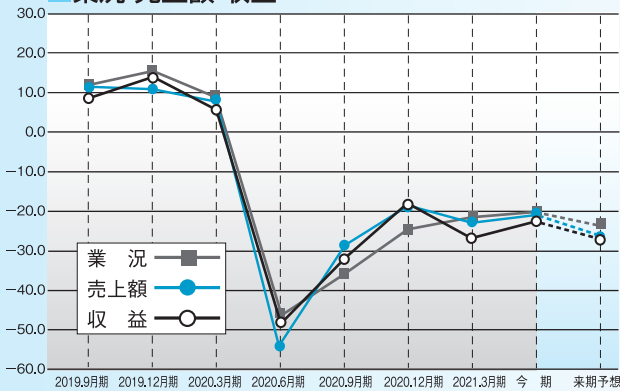


■企業のコメント



- ・コロナ禍の中でも安定した受注を確保。今後も売り上げは増加傾向。(土木建築工事)
- ・新型コロナウイルスの影響はあまりない。受注も定期的であり、順調である。(土木工事)
- ・今期から公共工事の受注も考えており、利益確保していけるように取り組む。(リフォーム)
- ・受注は安定しているが、外注含む人の確保に課題。(総合建築工事)
- ・現場のキャンセル等があり、売上減少傾向。先の見通しは難しい。(防水工事)

業況・売上額・収益



不動産業 DI値の推移

	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	今期	来期予想
業況	11.6	15.4	9.2	-45.3	-35.3	-23.9	-21.5	-20.0	-23.1
売上額	11.5	10.7	7.7	-53.8	-28.5	-18.5	-23.8	-20.7	-26.2
収益	8.5	13.8	5.3	-48.5	-31.5	-18.4	-26.9	-22.3	-26.9
販売価格	9.2	11.5	6.1	-13.8	-10.8	-3.9	-0.7	0.0	2.3
仕入価格	27.7	29.2	16.2	-1.5	-1.6	9.2	15.4	26.2	26.9
在庫	-21.6	-16.9	-18.5	-20.8	-21.6	-28.5	-26.2	-27.7	-28.5
資金繰り	0.0	-4.7	-3.8	-17.0	-10.8	-5.3	-2.3	0.8	0.8
従業員残業時間	0.0	1.5	3.8	-29.2	-23.8	-17.0	-13.8	-15.4	-12.3
従業員人手	-6.1	-6.9	-10.0	0.0	-3.1	-2.3	-3.1	-1.5	-1.5

業況について

2021年4月～6月期 ～業況は前期比1.5ポイント増の小幅改善～

2021年4月～6月期、不動産業の業況判断(DI)は▲20.0(前期比1.5ポイント増)と小幅改善。業種内容別業況では、「仲介管理」(前期▲16.7→今期▲20.0)は悪化した一方、「建売」(同▲21.5→同▲17.9)は改善したほか、「賃貸」(同▲28.6→同▲27.3)も小幅改善。来期予想の業況判断(▲23.1)は悪化の見通し。

◎業種内容別業況について(当期)

	全体	賃貸	建売	仲介管理
全体	130	22	78	30
良い～悪い	-26	-6	-14	-6
DI	-20.0	-27.3	-17.9	-20.0

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに改善～

売上額判断(DI)は▲20.7(前期比3.1ポイント増)、収益判断(DI)は▲22.3(同4.6ポイント増)と、ともに改善。来期予想の売上額判断(▲26.2)、収益判断(▲26.9)はともに悪化の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格はほぼ横ばい、仕入価格は大幅な悪化～

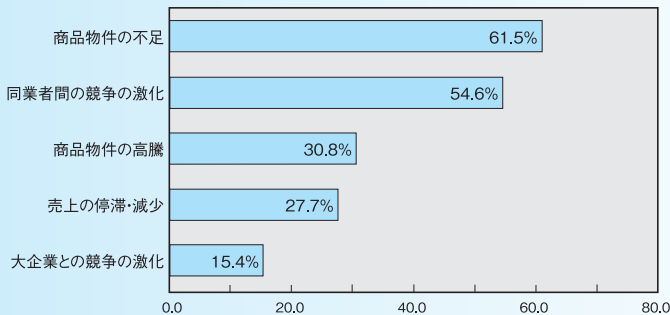
販売価格判断(DI)は0.0(前期比0.7ポイント増)とほぼ横ばい。一方、仕入価格判断(DI)は26.2(同10.8ポイント増)と大幅な悪化。来期予想の販売価格判断(2.3)は小幅改善の見通し。一方、仕入価格判断(26.9)はほぼ横ばい。

資金繰り・雇用面の動き

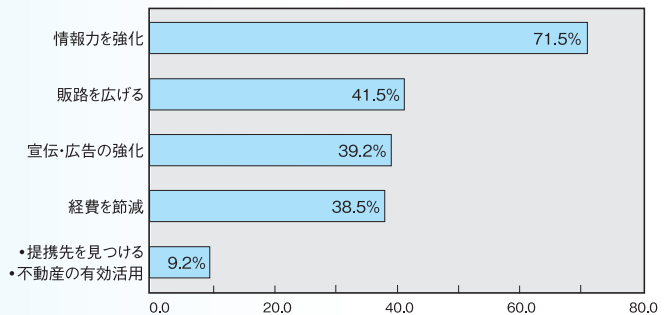
～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は小幅縮小～

資金繰り判断(DI)は0.8(同3.1ポイント増)と改善。人手判断(DI)は▲1.5(前期比1.6ポイント増)と「不足」超幅を小幅縮小。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期2.3%→今期2.3%と横ばいながら、適正とした企業の割合は同92.3%→同93.9%と小幅増加したほか、人手不足とした企業の割合は同5.4%→同3.8%と小幅縮小。来期予想の資金繰り判断(0.8)、人手判断(▲1.5)は、ともに横ばいの見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策



企業のコメント



- ・コロナの影響で仲介や売買が延期になっていたが、少しずつ動き出している。(不動産仲介・売買)
- ・収益物件所有しており、新型コロナウイルスの影響は無く、安定した家賃収入を得ている。(不動産賃貸業)
- ・コロナによる影響は多少あり。売却まで時間を要する。(建売業)
- ・ウッドショックの影響により原価上昇。当面は利益減少が見込まれる。(建売業・土地売買業)
- ・コロナの影響により契約寸前で白紙になった。(不動産販売)

今回の北おおさか信金景気動向特別調査は「新型コロナウイルス感染症が業績に与えている影響について」をテーマにアンケート調査を行いました。調査期間は2021年6月1日～7日。調査対象は北大阪を中心とする地元企業1200社で、有効回答は1200社(有効回答率100.0%)。

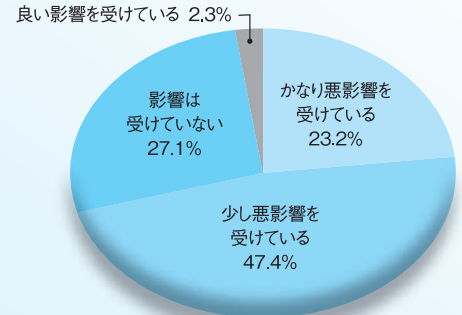


「新型コロナウイルス感染症」が 貴社に与えている影響について。

～「悪影響を受けている」70.6%、「影響なし」27.1%、
「良い影響を受けている」2.3%～

「新型コロナウイルス感染症」が貴社に与えている影響について聞いたところ、「悪影響を受けている」(「かなり悪影響を受けている」23.2%(前回調査(2021年3月時点、以下同じ。)23.1%)、「少し悪影響を受けている」47.4%(同49.8%)の合計)と回答した企業割合は70.6%と前回(72.9%)比2.3ポイント減となった一方、「影響は受けていない」と回答した企業割合は27.1%と前回(25.3%)比1.8ポイント増。なお、「良い影響を受けている」と回答した企業割合は2.3%と前回(1.8%)比0.5ポイント増。

新型コロナウイルス感染症が
貴社に与えている影響について



新型コロナウイルス感染症が貴社に与えている影響について

割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
23.2%	かなり悪影響を受けている		22.5%	24.5%	27.5%	36.9%	25.0%	14.0%	13.8%
47.4%	少し悪影響を受けている		50.0%	49.5%	45.8%	38.3%	40.0%	53.0%	54.6%
27.1%	影響は受けていない		21.5%	24.5%	25.8%	19.5%	33.5%	32.5%	31.5%
2.3%	良い影響を受けている		6.0%	1.5%	0.8%	6.0%	1.5%	0.0%	0.0%



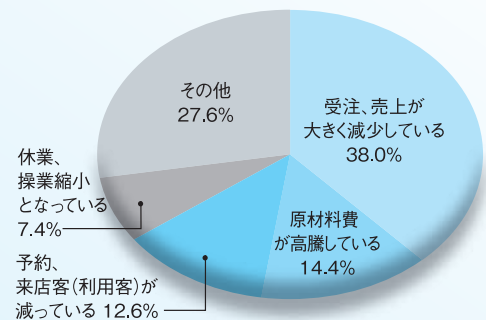
「悪影響を受けている」の悪影響の内容について。

～幅広い業種で「受注・売上が大きく減少している」～

悪影響を受けていると回答した事業先について、その内容を聞いたところ(複数回答)、「受注、売上が大きく減少している」が全体で38.0%(前回43.1%)と1位で、業種別には製造業(44.3%)、金属機械工業(43.8%)、卸売業(43.2%)、建設業(43.1%)を中心に、幅広い業種で影響を受けている状況。

次に、「原材料費が高騰している」が全体で14.4%(前回5.8%)と2位で、業種別には不動産業(25.9%)、金属機械工業(22.1%)、建設業(19.1%)で顕著。悪影響の上位1位、2位で全体の52.4%(前回57.5%)を占める結果。

「悪影響を受けている」の
悪影響の内容について



「悪影響を受けている」の悪影響の内容について

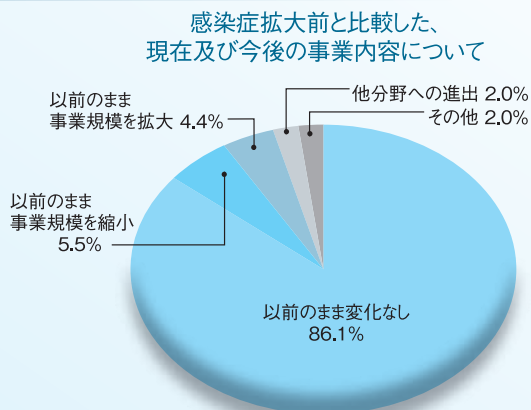
割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
38.0%	受注、売上が大きく減少している		44.3%	43.8%	43.2%	34.3%	27.6%	43.1%	27.9%
14.4%	原材料費が高騰している		17.7%	22.1%	12.3%	4.7%	1.3%	19.1%	25.9%
12.6%	予約、来店客(利用客)が減っている		3.8%	3.4%	4.8%	26.3%	27.1%	4.9%	17.7%
7.4%	休業、操業縮小となっている		4.6%	5.1%	6.2%	14.1%	11.1%	4.9%	4.8%
6.8%	イベント、集会等の自粛、縮小等の影響を受けている		8.4%	2.1%	11.6%	8.9%	11.1%	2.5%	2.7%
6.8%	多数のキャンセルが発生して業績に影響している		5.1%	8.1%	8.2%	2.3%	9.8%	10.3%	2.7%
5.5%	サプライチェーンに影響を受けている		7.6%	6.8%	7.5%	3.3%	2.2%	4.9%	6.8%
5.1%	その他		5.1%	5.1%	2.7%	1.9%	4.9%	7.8%	8.8%
1.3%	事業の継続が難しい		0.8%	1.3%	0.0%	2.3%	2.7%	0.5%	0.7%
0.9%	一部、社員(従業員)を解雇した		1.3%	0.9%	0.7%	0.9%	0.4%	1.0%	1.4%
0.7%	訪日外国人旅行者の減少が業績に大きく影響している		0.8%	0.0%	2.1%	0.5%	1.3%	0.0%	0.7%
0.4%	入国制限強化で海外からの技能実習生が来ない		0.0%	0.9%	0.7%	0.5%	0.4%	0.5%	0.0%
0.2%	採用計画を抑制(採用減・内定取消し等)		0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%



感染症拡大前と比較した、現在及び今後の事業内容について

～「以前のまま変化なし」86.1%、
「以前のまま事業規模を縮小」5.5%～

新型コロナウイルス感染症拡大前と比較した、
現在及び今後の事業内容については、
「以前のまま変化なし」が86.1%と1位。
「以前のまま事業規模を縮小」が5.5%と2位。
なお、「以前のまま事業規模を拡大」が4.4%、
「他分野への進出」は2.0%にとどまった。



■感染症拡大前と比較した、現在及び今後の事業内容について

割合	合計	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
86.1%	86.1%	以前のまま変化なし		86.0%	85.9%	86.7%	86.7%	83.9%	86.0%	88.5%
5.5%	5.5%	以前のまま事業規模を縮小		4.5%	4.5%	5.8%	7.3%	7.0%	5.0%	4.6%
4.4%	4.4%	以前のまま事業規模を拡大		5.5%	6.5%	3.3%	2.0%	3.5%	4.5%	4.6%
2.0%	2.0%	他分野への進出		2.5%	2.0%	1.7%	2.0%	2.5%	1.5%	1.5%
1.5%	1.5%	業態を変更		1.0%	0.0%	1.7%	2.0%	2.5%	2.5%	0.8%
0.5%	0.5%	その他		0.5%	1.0%	0.8%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%

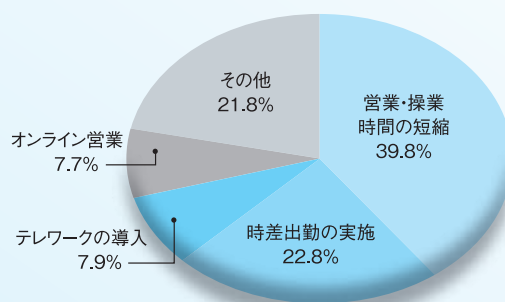


感染症の影響が長引く中、自社で対応していきたいと考える対策について

～「営業・操業時間の短縮」39.8%、
「時差出勤の実施」22.8%、
「テレワークの導入」7.9%、
「オンライン営業」7.7% など～

感染症の影響が長引く中、
自社で対応していきたいと考える対策（複数回答）に
ついては、主に「営業・操業時間の短縮」（39.8%）、
「時差出勤の実施」（22.8%）をあげる事業先が多かった。
なお、「テレワークの導入」は7.9%、
「オンライン営業」は7.7%にとどまった。

感染症の影響が長引く中、
自社で対応していきたいと考える対策について



■感染症の影響が長引く中、自社で対応していきたいと考える対策について

割合	合計	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
39.8%	39.8%	営業・操業時間の短縮		38.9%	42.7%	36.8%	47.1%	41.2%	36.1%	34.3%
22.8%	22.8%	時差出勤の実施		26.4%	27.3%	27.6%	9.6%	19.1%	22.7%	25.8%
7.9%	7.9%	テレワークの導入		9.0%	4.0%	13.2%	1.0%	9.6%	8.9%	11.2%
7.7%	7.7%	オンライン営業		9.0%	5.7%	11.5%	6.3%	4.8%	8.9%	9.6%
5.0%	5.0%	SNSの活用		3.9%	1.7%	2.3%	11.5%	5.9%	4.1%	7.9%
4.1%	4.1%	店舗・工場等の休業		4.2%	8.7%	0.6%	7.2%	2.9%	1.5%	1.7%
2.0%	2.0%	電子決済の導入		1.0%	1.3%	0.6%	7.2%	2.6%	1.1%	1.1%
10.6%	10.6%	その他		7.7%	8.7%	7.5%	10.1%	14.0%	16.7%	8.4%

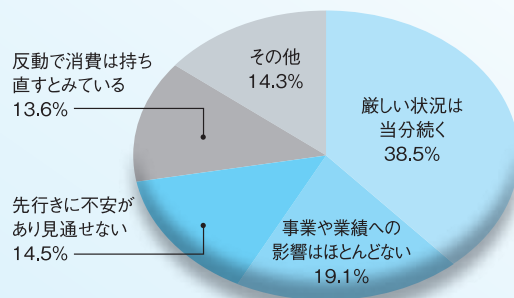


貴社は、今後一年間の事業や業績の見通しについて、どのような見通しをしていますか。

～「厳しい状況は当分続く」38.5%、
「事業や業績への影響はほとんどない」19.1%～

今後一年間の事業や業績の見通しについて聞いたところ、全体で「厳しい状況は当分続く」が38.5%（前回調査（2021年3月、以下同じ。）39.6%）と1位。2位は「事業や業績への影響はほとんどない」で19.1%（同19.6%）、3位は「先行きに不安があり見通せない」で14.5%（同15.4%）。他には、「反動で消費は持ち直すともみている」が13.6%（同13.3%）、「業績は改善すると楽観視している」が9.1%（同7.8%）となっている。

今後一年間の事業や業績についての見通し



今後一年間の事業や業績についての見通し

割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
38.5%	厳しい状況は当分続く		33.0%	40.7%	42.5%	48.7%	39.5%	28.6%	41.4%
19.1%	事業や業績への影響はほとんどない		15.0%	19.6%	17.5%	13.3%	18.5%	28.1%	19.5%
14.5%	先行きに不安があり見通せない		15.0%	13.6%	17.5%	14.0%	14.5%	15.6%	11.7%
13.6%	反動で消費は持ち直すともみている		18.5%	11.6%	15.0%	13.3%	12.5%	11.1%	14.1%
9.1%	業績は改善すると楽観視している		12.0%	11.1%	4.2%	5.3%	8.5%	10.6%	9.4%
2.8%	その他		3.5%	1.0%	2.5%	1.3%	5.0%	3.0%	3.1%
0.9%	資金繰りが悪化し目途がたたない		1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.5%	2.5%	0.0%
0.8%	休業、操業の縮小を考えている		1.0%	1.0%	0.8%	1.3%	0.5%	0.5%	0.0%
0.7%	このままだと廃業を考えざるを得ない		1.0%	1.5%	0.0%	0.7%	0.5%	0.0%	0.8%

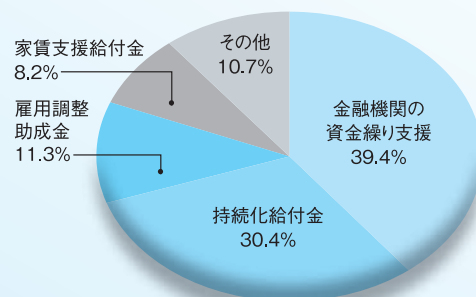


貴社は、どのような「新型コロナウイルス感染症」対策支援を申請しましたか。

～金融機関の資金繰り支援が1位～

「新型コロナウイルス感染症」に伴う対策支援（融資支援・各種給付金等）の申請状況について聞いたところ（複数回答）、融資支援では「金融機関の資金繰り支援」が39.4%（前回調査（2021年3月、以下同じ。）35.4%）、各種給付金・助成金では、「持続化給付金」が30.4%（同31.0%）、「雇用調整助成金」が11.3%（同9.6%）、「家賃給付支援金」は8.2%（同9.2%）となった。

どのような「新型コロナウイルス感染症」対策支援を申請したか



どのような「新型コロナウイルス感染症」対策支援を申請したか

割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
39.4%	金融機関の資金繰り支援		40.2%	36.8%	41.0%	32.1%	36.6%	44.9%	45.2%
30.4%	持続化給付金		28.8%	30.2%	29.2%	35.7%	29.9%	30.0%	29.6%
11.3%	雇用調整助成金		16.0%	15.5%	9.9%	7.5%	10.8%	8.0%	7.4%
8.2%	家賃支援給付金		7.3%	10.2%	7.5%	9.9%	7.3%	6.6%	8.7%
3.8%	その他		3.0%	2.8%	5.2%	4.0%	6.1%	3.7%	2.2%
2.9%	地方自治体の資金繰り支援		3.5%	1.3%	1.9%	3.2%	3.2%	4.6%	2.6%
2.0%	時短要請に対する協力金		0.0%	0.0%	1.9%	6.3%	4.7%	0.9%	2.2%
1.6%	事業再構築補助金		1.1%	2.5%	2.4%	0.8%	1.5%	1.1%	2.2%
0.3%	IT導入補助金		0.0%	0.8%	0.9%	0.4%	0.0%	0.3%	0.0%

地域密着を信条とした65か店のネットワーク

店舗のごあんない

北おおさか信用金庫 店舗配置図



※地図はイメージです。

- | | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ 店外 ATM ◆ 吹田市水道部出張所 ◆ 吹田市役所出張所 ◆ JR吹田駅前さんくす出張所 ◆ イズミヤ千里丘店出張所 ◆ メロード吹田出張所 ◆ フレンドマート岸辺出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ イオン高槻店出張所 ◆ アクトアモール出張所 ◆ 関西スーパー西冠店出張所 ◆ サボイ出張所 ◆ マルヤス富田店出張所 ◆ イオン茨木ショッピングセンター出張所 ◆ イオンスタイル新茨木出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 小曾根出張所 ◆ 三國商店街出張所 ◆ 神崎川駅前出張所 ◆ 毛馬出張所 ◆ イオンモール大日出張所 ◆ 大池出張所 ◆ 庄内栄町出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ららぽーとEXPOCITY店出張所 ◆ 旭丘出張所 ◆ 相川出張所 ◆ 茨木市役所出張所 ◆ 塚本駅前出張所 ◆ ビエラ岸辺健都出張所 ◆ 江口出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 此花出張所 ◆ 江坂出張所 ◆ みのおキューズモール出張所 ◆ 上牧出張所 ◆ 香里出張所 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

営業地域(地区別) 大阪府: 大阪市、茨木市、高槻市、吹田市、豊中市、箕面市、池田市、守口市、門真市、摂津市、寝屋川市、大東市、東大阪市、枚方市、八尾市、交野市、四条畷市、堺市、松原市、三島郡、豊能郡
 兵庫県: 尼崎市、伊丹市、川西市、西宮市、宝塚市、川辺郡
 京都府: 向日市、長岡京市、乙訓郡大山崎町

発行日 2021年7月26日
 発行 北おおさか信用金庫 総合企画部
 住所 〒567-8651 茨木市西駅前町9-32
 電話 072-623-4981(代)
 ホームページ <https://www.kitaosaka-shinkin.co.jp/>
 編集 株式会社 きたしん総合研究所

